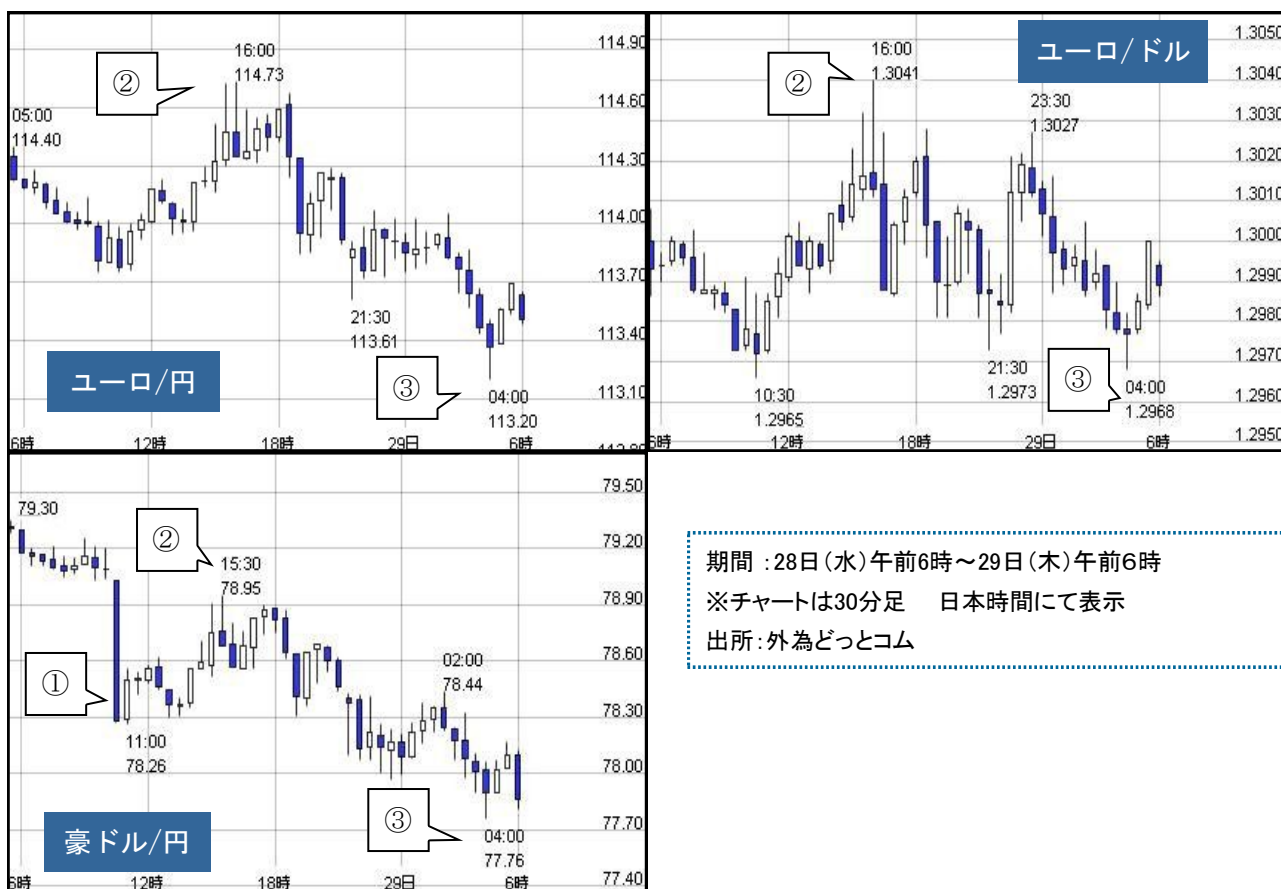


7月29日(木曜日)

ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

米景気減速懸念再浮上？

28日(水)の主な推移



①

豪第2四半期消費者物価指数は前年比+3.1%となったが、豪準備銀行が注目する基調インフレ率が前年比+2.7%と予想を下回った事で、8月の利上げ観測が急速に後退すると、豪ドル/円は78円台前半まで急落した。

②

日経平均株価が2.7%高、上海総合株価指数が2.26%高(いずれも終値ベース)となった事でリスクを積極的に取る機運が高まりユーロ/円は114.73円、ユーロ/ドルは1.3041ドルまで上昇した。ただ、利上げ観測が後退した豪ドルの上昇は限定的であった。

③

6月米耐久財受注が前月比で予想外に1.0%減少していた事や、地区連銀経済報告(ページブック)で米国景気の回復鈍化が示された事などが重しとなりNYダウ平均株価が軟調に推移するとユーロや豪ドルを売ってドルや円を買い戻す動きが強まった。また在庫の増加を受けてWTI原油先物価格が急落した事が豪ドル/円の下落につながった。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2890-1.3080ドル
ユーロ/円 : 112.80-114.50円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.30-78.70円

昨日の米地区連銀経済報告(ページブック)では、前回12地区すべてが経済活動の改善を報告していたが、今回は2地区で拡大ペースの減速が報告された。最近の米経済指標が示すように米国景気の回復鈍化が示された格好だ。こうした中では積極的にリスクを取る機運は高まりにくく、ユーロは上値の重い展開が予想される。一方で、ストレステストの結果公表を受けて、欧州金融機関に対する不安は後退しており、ユーロを売りにくいムードでもある。ユーロ/円ユーロ/ドル共に弱含みながらのもみ合いが予想される。(神田)

昨日の豪第2四半期消費者物価指数では基調インフレ率が前年比+2.7%と、豪準備銀行(RBA)のインフレーターゲットの上限である3%を下回った。このため一部に期待があった8月の利上げ観測は急速に後退し豪ドル/円の下落につながった。また、本日早朝には隣国ニュージーランドが利上げに踏み切ったものの、その後のNZ準備銀行(RBNZ)総裁の声明で「利上げのペースは一段と緩やかになる可能性がある」と表明したことでNZ/円が急落した。これまで世界に先駆けて利上げを実施してきたオセアニア諸国の利上げ観測後退を受けて、本日の豪ドル/円は上値の重い展開となりそうだ。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/29(木)	16:55		(独)7月失業者数	-2.1万人	-2.0万人
	16:55		(独)7月失業率	7.7%	7.6%
	21:30	○	(米)7/25までの週の新規失業保険申請件数	46.4万件	46.0万件
	26:00		(米)7年国債入札(290億ドル)	-	--

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。